

事業報告

令和4年度 学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業
企業・高校等を活用したチャレンジ教室開発事業 「県によるプログラム提示③」

日時：令和5年2月12日（日）

会場：大分県立図書館 参加者：9名（6市町） 小学生：42名

<研修趣旨>

「おおいたを知る・おおいたを学ぶ・おおいたを体験する」ことのできる小学生向けの各種体験プログラムを多様な経験や技能をもつ外部団体と連携して開発・実施し、併せて市町村へのプログラムの紹介・普及を図る。

<研修内容>

【第1部】▼「やってみよう 小学生の職業体験」プログラム見学

協力団体：「テレビ局のおしごと」 : OAB 大分朝日放送
 「弁護士のおしごと」 : くまがい法律事務所
 「ゲーム制作のおしごと」 : Summer Time Studio

今回のプログラムは、「やってみよう 小学生の職業体験」をテーマに企業・事務所の協力をいただき、「テレビ局のおしごと」「弁護士のおしごと」「ゲーム制作のおしごと」の3つの職業体験活動を準備・企画しました。魅力的な体験活動や考えたりグループで話し合う場面を積極的に取り入れたプログラムを実施していただき、各職業への理解と興味・関心を大いに喚起していただきました。



【開会行事 主催者あいさつ】
大分県立図書館 副館長兼学校・地域支援課長 矢野 修



【開会行事 協力企業・事務所紹介】



「テレビ局のおしごと」① アナウンサー体験



「テレビ局のおしごと」② 技術スタッフ体験



「弁護士のおしごと」① 事件記録の検討



「弁護士のおしごと」② 意見発表



「ゲーム制作のおしごと」①
グループ毎のゲーム企画



「ゲーム制作のおしごと」②
各グループのゲーム企画の発表、全体検討

【第2部】▼協力団体との協議・意見交換

協力企業・事務所の代表から今回実施したプログラム及びその他実施可能なプログラムについて説明していただきました。その後、市町村の社会教育関係者から多くの質問が出され、活発な質疑・応答、意見交換を行いました。今回の職業体験活動プログラムを各市町村でも実施したいとの希望が多く、有意義な協議となりました。

＜参加者感想＞

- 子どもたちに体験させ、一緒に考え、進めて行くことで、子どもたちが理解しやすい工夫がされていて大変良かった。
- 「ゲーム制作のおしごと」「弁護士のおしごと」はワークショップが多くて、創造力を高めたり、自分の意見を相手に伝える体験ができていてとてもよかったです。
- 「テレビ局のおしごと」では、テレビ局さながらの雰囲気アナウンサー体験できよかったです。
- 第2部の協議では、皆さんがすごく丁寧に各プログラムを説明していただき、非常に参考になりました。直接お話をお聞きすることができ良かったです。是非お呼びしたい。
(小学生)
 - ・普段できないことができ、とても楽しかった。この仕事はこんなことをするんだと知りました。
 - ・とても楽しく、未来のことを考えられて色々興味をもちました。
 - ・「テレビ局のおしごと」では技術者やアナウンサー体験ができ、夢のようで楽しかったです。
 - ・「弁護士のおしごと」では、ガチの資料を読んでときどきしました。
 - ・「ゲーム制作のおしごと」では、班で話して、アイデアが膨らんで楽しかったです。
- (保護者)
 - ・弁護士体験は感動しました。準備物から子どもの接し方、内容の面白さ、私も夢中で聞き入りました。もっと長い時間体験を受けたかったです。
 - ・実際のテレビで活躍中の下野アナウンサーの助言とリードで子ども達の変化がわかりました。
 - ・「ゲーム制作のおしごと」では、皆で考えをまとめて発表することが良い経験になったと思います。
 - ・子どもの想像力や表現力を求められたので、頭をつかっていい時間でした。
 - ・どのような仕事内容なのか知る機会があまりない中で、子ども達の興味を引き出すような内容で、仕事内容を体験する事ができて、いい経験になりました。